

東の風



やさしく
かしこく
たくましく

No.20

平成29年5月29日(月)

文責：園田

学校教育目標：心豊かに 自ら学び たくましく生きる子どもの育成

東っ子のみなさん、きれいにしてくれて
うれしいなあ ありがとう!

子ども達を静かに見守る 東小学校のシンボル 校門横のクスノキ



中庭側から(校門横)



校門下 階段より

東小学校の校門横にドーンと大きくそびえ立つクスノキ。記録がないので、はっきりとはわかりませんが、その樹齡は140~150才程になるのでしょうか。(本校は143年目です。)

この伝統ある東小学校が創立された当初から、長い間、時を越え、子ども達を優しく温かく、そして静かに見守り続けているのでしょうか。この季節、澄み切った青空をバックに瑞々しい若葉を見上げると、より一層、本校の歴史と伝統の重みを感じます。

このクスノキ、大きく大きく育ち、堂々とした姿で立っています。その生命力を維持するための新陳代謝を繰り返し、季節が変わるたびに、新芽を吹き、若葉を広げ、そして枯れ落ち、また新しい葉をつけ

ます。その分、日々、校門付近には落ち葉や折れ枝が散らばっています。そのままにしていたら、校門や校門下の階段はあっという間に、落ち葉だらけ、折れ枝だらけになってしまいます。風が強い日は特にひどく散らかります。校門は学校の顔。整然と美しく保ちたいものです。

ここで頑張ってくれているのが子ども達。朝のボランティア活動として、掃除をしてくれています。ボランティアとは言うものの、一応、活動の曜日や時間帯、分担は決めています。(活動のきっかけづくりや意識付け、動機づけ等の働きかけのためです。)でも、係ではない低学年の子ども達や当番になっていない日でも掃除に来てくれる子ども達がいいます。

「自分の学校だから、自分できれいにしたい。」「クスノキや学校が喜んでくれる。」「働く気持ちいい。」「きれいになると気持ちいい。」「みんなが喜んでくれる。」そんな「思い」をもって参加してくれている子もいるでしょうし、そんな思いを持つ子が増えると嬉しく思います。

ご苦労様!



低学年も!



きれいになるね!



ありがとう!



子どもの本当の「やる気」「意欲」は、外部からの働きかけでは、生じにくいものです。例えば、「褒めてもらえるから」「ご褒美がもらえるから」「怒られるから」といった理由で行動する場合があります。この場合は「褒められること」「ご褒美をもらうこと」「怒られないこと」という外的な要因が動機や目的となってしまいます。従って「褒められなければならない」「ご褒美がなければならない」「怒られなければならない」ということに繋がってしまいがちです。

本当のやる気や意欲は自分の中、自分自身の内側から湧き出てくるもの。その種となるのが「人の役に立つ喜び」です。「綺麗にすると自分も気持ちよくクスノキやみんなが喜んでくれる。」そんな喜びに気づいてくれると嬉しいです。「自分が、人の、誰かの、何かの役に立っている」、そんな自己有用感こそが、自己肯定感となり、次の活動への意欲となります。昨年度、担当が「スマイルボランティア」と名付けたこの活動。自分が、そしてみんなが笑顔となり、その笑顔が活動の広がりと共に大きな大きな笑顔へ、そして本物の笑顔へと広がっていくことを楽しみにしています。